

## 請願第7号

学校生活の安全・安心と教育の質の維持のため、教職員の未配置解消に関する請願

### 1 趣 旨

ここ数年、学校では定年退職者が増加し、若年層が大量採用されているため、育休を取る教員の数が増えている。しかし、若年層の大量採用や教職希望者の減少により講師の成り手不足が深刻化しており、年度当初であっても教員に欠員が生じることがある。年度途中には、産育休や病休などの代替教職員も見つかりにくいため、さらに欠員が増えて、子どもたちが困る事態が起きている。

ある中学校においては教科担任が不在となり、2クラス合同60人以上で授業を行った例も報告されている。また、ある小学校では担任が不在となり、校内の人員でカバーし合うものの、心身ともに余裕のない状況で子どもたちに向き合っていると聞いている。このように、子どもたちの学校生活に影響が及んでいる。

子どもたちが安全・安心に過ごすことができる場と学びの質の確保のためには、教員の未配置がなくなるような施策が早急に必要である。

そこで、下記のとおりに請願する。

### 記

福井県の学校現場においても深刻な人手不足が続いており、教職員の未配置が見られることから、子どもたちの安全・安心な学習環境と教育の質の維持・確保のため、教職員の未配置がなくなるような施策を進めること。

### 2 提 出 者

福井の教育をよくするための県民協議会 会長 笠松照喜

### 3 紹 介 議 員

西本正俊、北川博規、細川かをり、山岸みつる、西本恵一

### 4 受 理 年 月 日

令和6年11月20日